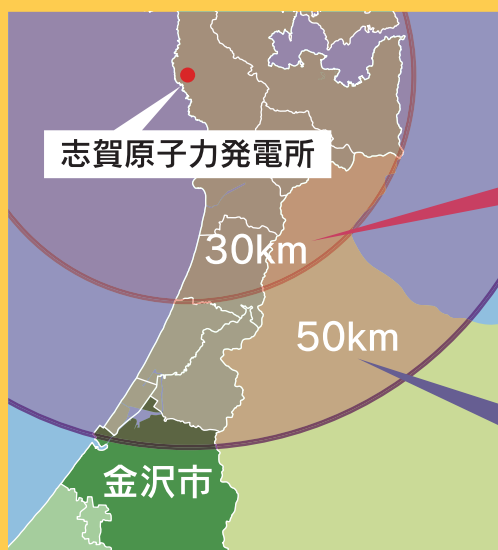


# 原子力災害に備えて!

平成23年3月に発生した東日本大震災による福島第一原子力発電所事故では、大量の放射性物質が放出され、周辺の地域では今なお、多くの方が避難生活を送っています。

金沢市では、志賀原子力発電所における原子力災害に備え、平成25年に原子力災害対策計画を定め、平成28年に一部改正しました。

日頃から原子力災害について理解を深め、いざという時に備えましょう。

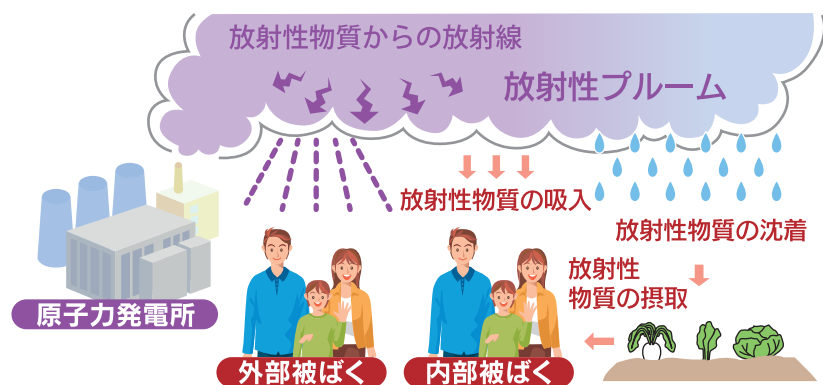


## 原子力発電所からの距離を知ろう

国では、原子力発電所から概ね30km圏内の市町に避難や緊急時の医療体制の整備などについての原子力災害対策計画の策定を義務づけています。

本市は志賀原子力発電所から約45km離れていますが、福島第一原子力発電所の事故では、放出された放射性プルームが約50kmにも及んだといわれています。そうしたことから、市民の安心・安全のために屋内退避や被ばく医療体制などを本市の計画に定めています。

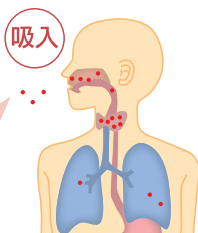
## 放射性プルームとはどんなもの?



**【放射性プルームとは】**  
気体状の放射性物質が大気中を雲のような塊となって流れる現象。放射性希ガス・放射性ヨウ素・ウランなどが含まれ、内部被ばくや外部被ばくの原因となる。放射性雲。

### ・放射性ヨウ素

放射性ヨウ素は肺、消化管から取り込まれて体循環に入り、そのうちの10～30%が甲状腺へ選択的に集積される。



## 外部被ばく

**【外部被ばくとは】** 体の外から放射線を浴びて受ける被ばくのことです。原発事故では、放射性プルームや地上に落下した放射性物質からの放射線によって被ばくします。

**【人体への影響】** 放射線を浴びると、身体を構成する細胞が傷つき、疾病の原因になることがあります。また、高線量では死に至ることもあります。

## 内部被ばく

**【内部被ばくとは】** 食事や呼吸を通じて体の中に取り込まれた放射性物質から放射線の影響を受けることを内部被ばくといいます。

**【人体への影響】** 放射性ヨウ素を吸入すると甲状腺に蓄積され、数年～数十年後に甲状腺がんを発生させる可能性があります。

金沢市ホームページ「いいね金沢」内の防災ホームページも活用して下さい。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/22054/bousai/index.html>

お問い合わせは

金沢市危機管理課

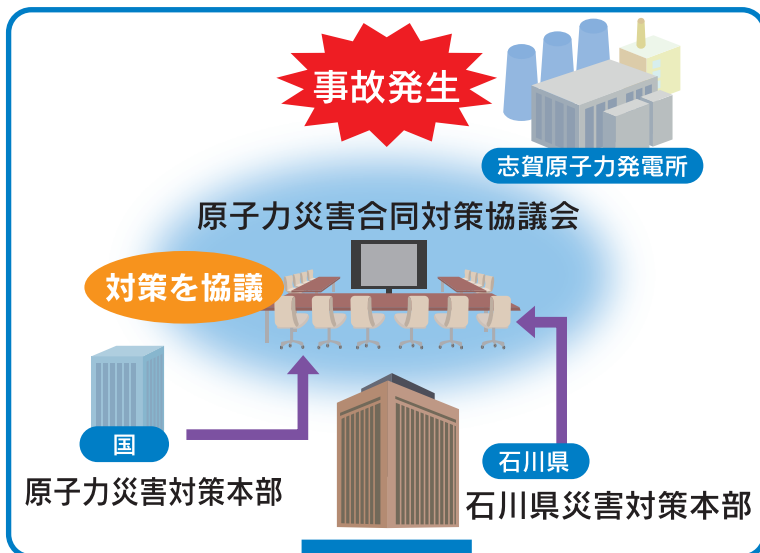
TEL 076-220-2060 FAX 076-233-9999  
E-mail kiki@city.kanazawa.lg.jp

# 原発事故発生、どうすればいいの？

志賀原子力発電所で事故が発生し、金沢市への影響が心配される時には、市役所から市民に情報を伝達し、必要な指示を行います。

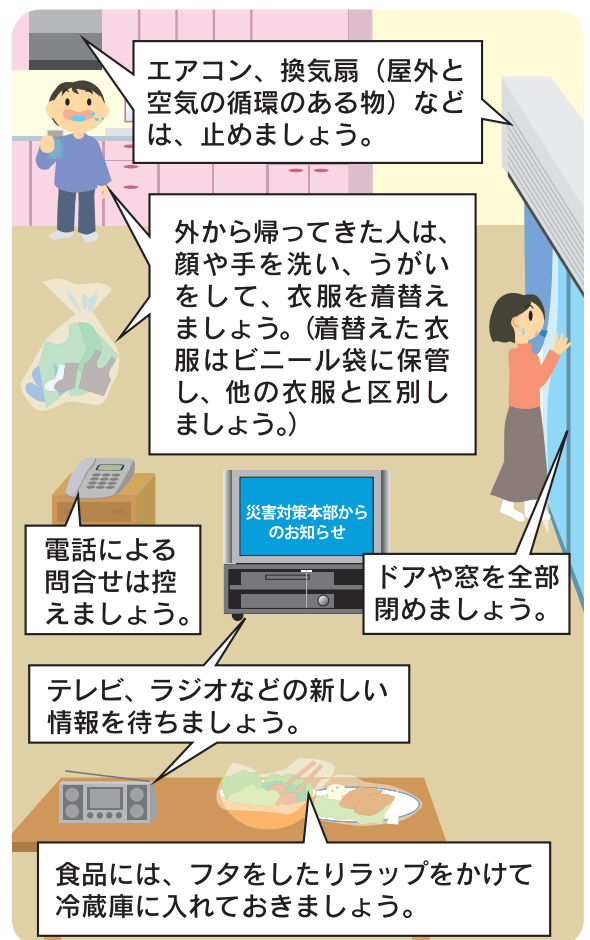
この際には、うわさに惑わされず、落ち着いて行動することが大切です。

## 正確な情報をもとに行動しましょう



## 屋内退避の指示

市役所から指示が出たときには、屋外にいる人は、自宅や近くの建物の中に入ってください。その際には新たな指示があるまで、外出を控えてください。



★木造家屋より放射線が通り抜けにくいコンクリートの建物(小・中学校の体育館など)への退避指示が行われることもあります。

## 安定ヨウ素剤の服用

甲状腺内部被ばくの予防の一つとして、安定ヨウ素剤の服用が有用です。金沢市でも、安定ヨウ素剤を備蓄しており、万が一の災害発生に備えています。

- 次の方は服用できない場合がありますので医師にご相談下さい。
  - ・ヨード過敏症の既往歴のある方
  - ・甲状腺機能低下症の方など

★ 配布や服用については、必要な際に金沢市が指示します。